

事情説明書 (財産分与)

この書類は、申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ、空欄に具体的に記入して、申立ての際に提出してください。
なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

<p>1 今回あなたがこの申立てをした「きっかけ」「いきさつ」を書いてください。</p>	
<p>2 調停ではどのようなことで対立すると思われるか。 (該当するものに、チェックしてください。複数可。)</p>	<p>婚姻(同居)・別居の時期</p> <p>婚姻(同居)期間中に形成した財産の内容</p> <p>婚姻(同居)期間中に形成した財産の評価額</p> <p>婚姻(同居)期間中に形成した財産につき、その形成に対する寄与・貢献度</p> <p>財産の分与方法</p> <p>その他 ()</p>

平成 年 月 日 申立人 _____ 印

連絡先等の届出書

1 送付場所

標記の事件について、書類は次の場所に送付してください。

申立書記載の住所のとおり

下記の場所

〒

場所： _____

場所と本人との関係： 住所 就業場所（勤務先）

そ の 他

2 平日昼間の連絡先

携帯電話番号： _____

固定電話番号（自宅 / 勤務先）： _____

どちらに連絡があってもよい。

できる限り、携帯電話 / 固定電話への連絡を希望する。

裁判所から固定電話に連絡するとき、電話に出られた方に「裁判所」と名乗ってよいですか。

よい よくない

* 1, 2 について非開示を希望する場合には、非開示の希望に関する申出書を作成して、その申出書の下に本書面をステープラー（ホチキスなど）などで付けて一体として提出してください。

* 連絡先等について非開示を希望する場合には、原則として、開示により当事者や第三者の私生活・業務の平穩を害するおそれがあると解し、開示することはしない取り扱いになっておりますので、その他の理由がなければ、非開示の希望に関する申出書の第2項（非開示希望の理由）に記載する必要はありません。

平成 年 月 日

申立人 / 相手方 氏名： _____ 印